

平成30年度全国学力学習状況調査結果の分析

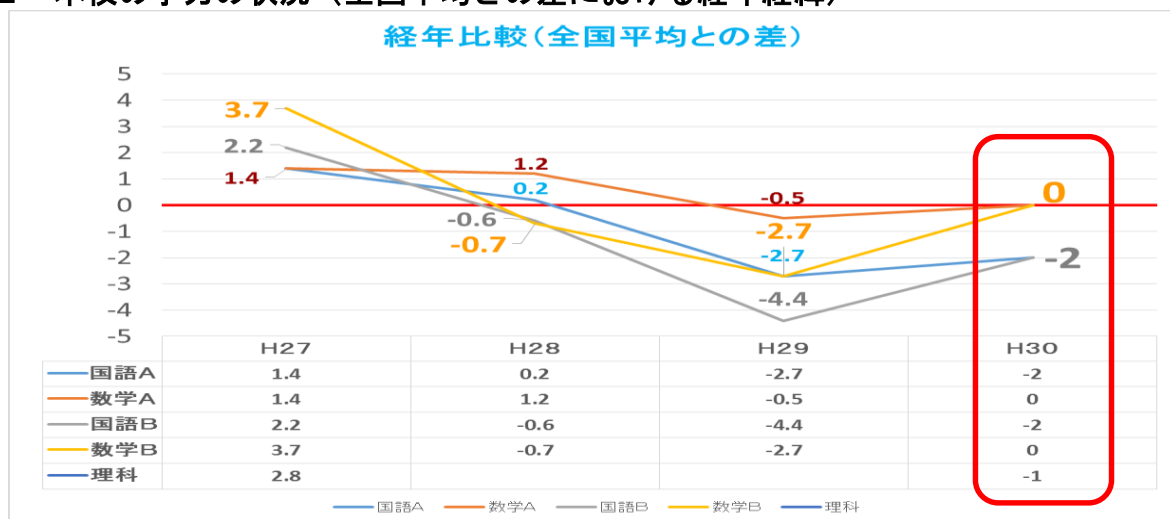
日置市立伊集院中学校

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
伊集院中学校	74	59	66	47	65
鹿児島県	75	58	64	45	65
全国	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

1 本校の学力状況（全国、県との比較から）

- … 数学においては、A、Bともに県平均を2ポイント上回っている。
※ 特に、Bについては、全国平均を上回っている。
- △ … 理科においては、県平均と同じであるが、全国平均を1ポイント下回っている。
- × … 国語（本校の課題）、A、Bともに全国を大きく（2ポイント以上）下回っている。**なぜ？どうすれば？⇒今後の学校経営の課題**

2 本校の学力の状況（全国平均との差における経年経緯）



- 全国平均との比較について、本年度は昨年度に比べ、3教科ともその差は縮まってきている。

※ 特に、国語B、数学Bについては、昨年度より2ポイントと大きく差が縮まってきています。

しかしながら、平成27年度に比べ、低い状態であることから、更なる授業改善が必要であると考えている。

3 本校の学力向上に向けて

○「分かる」⇒「できる」⇒「使える」⇒「生かせる」授業に転換。

(1) 学ぼうとする「意欲の向上」と何を学んだかの「振り返り」の徹底

※ 自分の言葉で書かせ、自分の言葉で（根拠をもって）説明させる機会を意図的・計画的にもつ

(2) 学んだことを活用する場面の設定（既習学習の活用）

※ 教科の枠を超え、横断的に活用（他教科から学び方も学ぶ）

※ 小学校からも学ぶべきことは学ぶ。

(3) 課題を見だすための「問いかけ」

※ 回答に対して「なぜ」と問いかける。

4 今回の結果から見えてくるもの。（次年度に向けて）

(1) 無回答の割合

ア 国語 (無回答率)

① A・・・18問（選択10問、短答8問）／32問 (56.25%)

② B・・・4問（選択1問、記述4問）／9問 (44%)

イ 数学

① A・・・26問（選択9問、短答17問）／36問 (72%)

② B・・・1問（選択1問）／14問 (7%)

ウ 理科

○ 16問（選択6問、短答4問、記述6問）／27問 (59.2%)

<考察>

(7) あきらめ（どうせできない。面倒くさい。）

問題に最後まであきらめず取り組もうとする粘り強さ。

⇒ 小テストや定期テストでの指導を徹底

(4) 問題の意味「読み取り」ができていない。（意味が分からない。）

⇒ 「読む」、「話す」、「聴く」、「問い返す」、「語る」を「理解する」

(2) 全国平均より低い割合

ア 国語

① 国Aにおいて全国平均より低い問題の割合・・・62.5%（20問/32問）

※ 5ポイント以上の開き・・・9問（最高13.1ポイントの差）

- ② 国Bにおいて全国平均より低い問題の割合・・・**77.7%** (7問/9問)
※ 5ポイント以上の開き・・・**3問**(最高は5.3ポイントの差)

イ 数学

- ① 数Aにおいて全国平均より低い問題の割合・・・**50.0%** (18問/36問)
※ 5ポイント以上の開き・・・**5問**(最高**21.6**ポイントの差)
② 数Bにおいて全国平均より低い問題の割合・・・**42.8%** (6問/14問)
※ 5ポイント以上の開き・・・**0問**
◎ 全国平均よりも高い問題・・・8問

ウ 理科

- 全国平均より低い問題の割合・・・**62.9%** (17問/27問)
※ 5ポイント以上の開き・・・**6問**(最高**13.3**ポイントの差)

5 教科別考察(分析・評価に基づく今後の方向性)

(1) 国語

ア A問題の結果から

- (ア) 「読むこと」の力が、かなり低い。(7ポイントの差)

<例えば>

- 段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てる。(**13.1**ポイントの差)(A-5の1の問題)

- (イ) 「話すこと」「聞くこと」力が、かなり低い。(6.5ポイントの差)

<例えば>

- 話の論理的な構成や展開などを注意して聞く。(7.7ポイントの差)(A-1の1の問題)

- 話合いの話題や方向を捉えて的確に話す。(6.4ポイントの差)(A-6の2の問題)

- (ウ) 「書くこと」の力が低い。(4.4ポイントの差)

<例えば>

- 段落相互の関係に注意し、読みやすく分かりやすい文章にする。(7.2ポイントの差)(A-4の2の問題)

- 伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるよう書く。(6.9ポイントの差)(A-2の2の問題)

イ B問題の結果から

- (ア) 「読むこと」の力が低い。(3.5ポイントの差)

<例えば>

- 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する。(**5.0**ポイントの差)(B-3の1の問題)

○ 登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる。
(5.0ポイントの差) (B-3の2の問題)

○ 文章の構成や展開について自分の考えをもつ。(5.3ポイント
の差) (B-1の2の問題)

(イ) 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」(3.3ポイントの差)

<例えば>

○ 相手に的確に伝わるように、あらすじを考えてかく。(4.3ポイント
の差) (B-3の3の問題)

(ウ) 「書くこと」(3.1ポイントの差)

<例えば>

○ 目的に応じて文章を読み、内容を理解して(書く)。「天地無用」
※ 「天地は(無用:関係ない。)」と間違えて捉えてしまっている。
⇒日常の中で同様なことはないか? 「情けは人のためならず。」など。
(B-1の3の問題)

○ 相手に的確に伝わるように、あらすじを考えてかく。(4.3ポイント
の差) (B-3の3の問題)

(エ) 「話すこと・聞くこと」(0.6ポイント高い)

ウ 今後の指導の在り方

(ア) 「読む力」の育成(読んで内容を理解させる。)

- ・ 読書活動の推進(どんな本?何が書いてあった?)
- ・ 新聞記事の活用(どんな内容?どう思った。)
- ・ 朝読書等(どんな本?紹介して!)⇒定期的に!

(イ) 「書く力」の育成

- ・ 文書の書き方指導←小学校との連携(引き継ぎ)
- ※ 小・中連携して「文書の書き方(接続語等)」を指導する。
- ・ (ア)を活用し、自分の考えを書かせる機会を、意図的・計画的に
実施する。(学校行事等、すべての教育活動において「書く」を)

(ウ) (ア)、(イ)を基に「話す力、聞く力」の育成

- ・ 自分の考えを発表し、その発表に対する質問等を受ける機会を
つくる。⇒各教科における「話し合い活動」や「ディベート」など
- ・ 1分間スピーチなど、学級活動等を通じた意図的・計画的な実践
化を図る。

- 「特別の教科 道徳」における「考え、議論する道徳」で実践化を図る。
- 特別活動の「学級会活動」における話し合い活動を通して実践化を図る。
- 「読書活動」におけるビブリオバトルを通して実践化を図る。

(2) 数学

ア A問題の結果から

(7) 「数と式」が、かなり低い。(2. 8ポイントの差)

<例えば>

- 絶対値の意味を理解している。(21. 6ポイントの差)
(A-1の(2)の問題)
※「6の絶対値はいくらか」⇒ 正答率 47.4% : 無回答 15.8%
- 指数を含む正の数の負の数の計算ができる。(17. 8ポイントの差)
(A-1の(3)の問題)
※「 $2 \times (-5^2)$ の絶対値はいくらか」
⇒ 正答率 51.1% : 無回答 1.5%

(4) 「関数」が、やや低い。(0. 3ポイントの差)

<例えば>

- 一次関数 $y = ax + b$ について、 x の値の増加に伴う y の増加量を求めることができる。(4. 7ポイントの差)
(A-11の(1)の問題)
- 一次関数の意味を理解している。(7. 1ポイントの差)
(A-12の問題)

◎「図形」と「資料」の活用については、全国平均を上回った。

イ B問題の結果から

(7) 「数と式」が低い。(1. 5ポイントの差)

<例えば>

- 事柄が成り立つ理由を構想立てて説明することができる。
(2. 2ポイントの差) (B-2の(2)の問題)

(4) 「図形」が低い。(1. 6ポイントの差)

<例えば>

- 証明を振り返り、証明した事柄を基にして、新たな性質を見いだすことができる。(2. 8ポイントの差) (B-4の(1)の問題)
- 付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することができる。(2. 6ポイントの差) (B-4の(2)の問題)

◎「確率」と「グラフの解釈や読み取り」は、よくできている。

ウ 今後の指導の在り方

(7) 「数と式」について

- ・ 計算力を身に付けさせる。(特に負の数や累乗を交えた計算)

- ・ 絶対値や素数の意味の理解。(数の概念)
- (イ) 「図形」について
 - ・ 図形の定義等について理解させる。(台形、平行四辺形、ひし形、長方形、正方形等々)
 - ・ 図形を移動させたり、折り目を付けたりする場合の想像力等(空間認識)
 - ・ 証明問題の理解(課題の見だし)なぜ?⇒解決へ
- (ウ) 「関数」について
 - ・ 一次関数等など関数の理解を深める。
 - ・ 変化の割合の意味から増加量を求める。
 - ・ 表からグラフへまたはグラフから表へ
- (エ) 「資料の活用」について
 - ・ 新聞記事や社会科の統計、理科の実験データ等を活用しながら、事実を基にした論理的思考力の構築を目指す。

(3) 理科

ア 解答結果から

- (7) 1分野「化学的領域」が低い。(2.4ポイントの差)

<例えば>

- アルミニウムの原子の記号の表し方についての知識をもに身に付けている。(13.3ポイントの差)(8の(1)の問題)

【AL、Al(75.2)、aL、al(12.8)]⇒正しい元素記号を!

- 発熱パックに入っているアルミニウムが水の温度に関係していることを指摘できる。

(6.6ポイントの差)(8の(2)の問題)

※ 実験結果からの考察を!

- 濃度が異なる食塩水のうち、濃度が低いものを指摘できる。

(5.1ポイントの差)(2の(2)の問題)

※ 食塩水の濃度の求め方を知っていること。

- ◆ ガスバーナーの空気の量を調節する場所を指摘できる。(2.2ポイントの差)(4の(1)の問題)

※ 各種実験器具の各部の名称を知り、しっかりと使うことができるようにしておくこと。(言葉での説明も!)

◎「物理的領域」いては、全国平均を上回った。(1.5ポイント)

- (1) 2分野「生物的領域」が低い。(2.3ポイントの差)

<例えば>

- 反応の時間を測定する装置や操作を刺激と反応に対応させた

実験を計画できる。(11.7ポイントの差) (8の(2)の問題)

※ 各種実験を行う際、実験の目的や方向性など、まず自ら考え、その考えを基にグループで話し合う機会をもたせることが必要である。(見直しをもった計画の立案)

○ ひとつの要因を変えるとその他にも変わる可能性がある要因を指摘できる。(4.2ポイントの差) (2の(4)の問題)

☆ 「あさりに光を当てると、出る砂の量にどう変化があるか。」

⇒ 「蛍光灯の光」を「窓際の明るい光」に変えることで、他に「変わる要因は何か？」＝ 温度や蒸発など

※ 状況変化を捉え、予想し、考えようとする力を身に付けさせる。

(ウ) 2分野「地学的領域」が低い。(2.8ポイントの差)

<例えば>

○ 地震の揺れの強さが震度であること、S波による揺れが主要動であることの知識を身に付けている。(8.5ポイントの差) (7の(1)の問題)

※地震に関する知識をしっかりと身に付けておく。

○ 風向や観察方法や記録の仕方に関する知識・技能を活用できる。(2.9ポイントの差) (3の(1)の問題)

※ 台風の進路予想図や風の向き、実際の自宅の向きなど、様々な情報を基に状況を把握できる能力が求められる。

○ 植物を入れた容器の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘できる。(5.9ポイントの差) (9の(2)の問題)

※ 実験結果を考察する中で、新たな疑問を見いだす力が必要。

⇒ まずは、教師側の「問い返し」が必要ではないか。「どうしてそう考えた?」「他に考えはない?」「疑問は?」など

⇒ その後、子ども自身の「問い返し」につなげる。

イ 今後の指導の在り方

(ア) 「物理的領域」について

全国平均を上回っている(1.5ポイント)ものの、問題別に見てみると、「電気領域」特に実験結果からの考察力が弱い。

⇒ 実験の趣旨や目的をしっかりと理解した上で、見直しをもった実験計画を立てさせるとともに、実験結果を基に自分の考えで考察をさせる。その中で、「疑問：新たな課題」を見いだすことができるようにさせることが大切である。

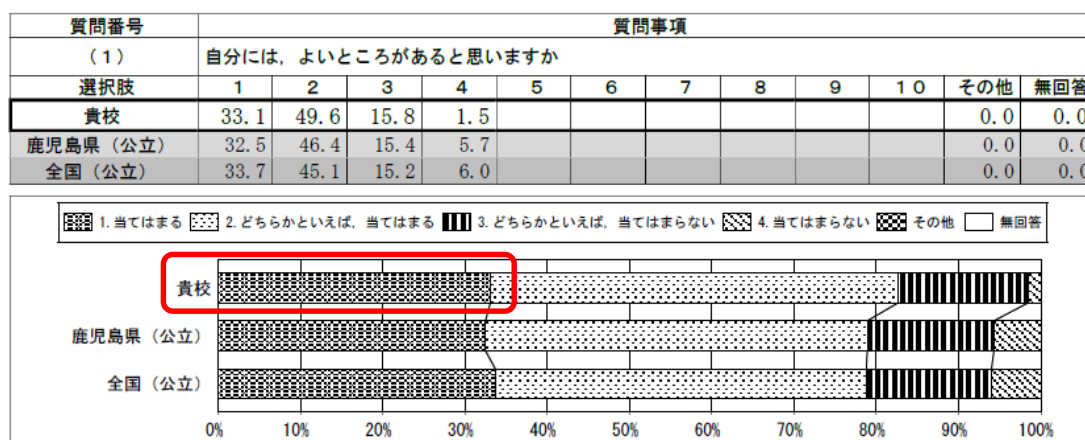
(イ) 「科学領域」について

- ① 元素記号等、覚えなければならないことはしっかりと。
 - ② 水溶液の濃度等、計算を必要とするものについては、その計算過程をしっかりと理解したうえで計算させる。
 - ③ 実験器具、実験の仕方をしっかりと理解させ、自分でできる。また、人に説明できる力を身に付けさせる。(その中で、「こうした間違いが多い」や「こうすると危険」など、その他の必要な情報も付け加えながら説明できるとよい。)
- (ウ) 「生物的領域」について
- ◎ 実験をとおした考察力を身に付けさせ、要因が変わると何が変わるかなど、予測、見通し、新たな課題等を見いだす力を伸ばすことが重要である。⇒ 体験的な実験ではなく、「見通しをもち、考え、新たな疑問、課題を見いだす」実験活動へ転換する必要がある。
- (イ) 「地学的領域」について (地震、台風、水害等への対応)
- ① 地震に関する知識
 - ② 実験を通した考察力
 - ③ 情報活用能力
- ※ 資料やデータ等を基にこれから先起きることを予測できる力を身に付けさせる。

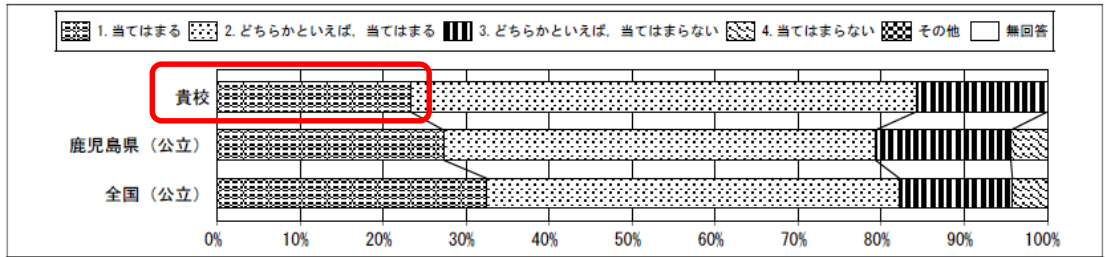
6 生徒質問紙から見える本校の課題

(1) 自己肯定感が**高い**割に、「先生から認められていると思っていない。」という状況

ア 本年度の状況

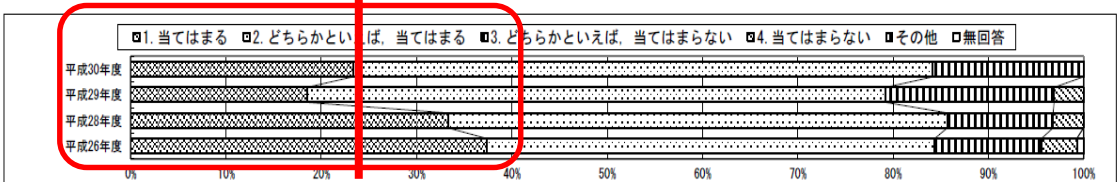


質問番号	質問事項												
(2)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていますか												
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答	
貴校	23.3	60.9	15.8	0.0							0.0	0.0	
鹿児島県（公立）	27.3	52.0	16.3	4.4							0.0	0.0	
全国（公立）	32.5	49.7	13.6	4.2							0.0	0.1	



イ 過去4年との比較

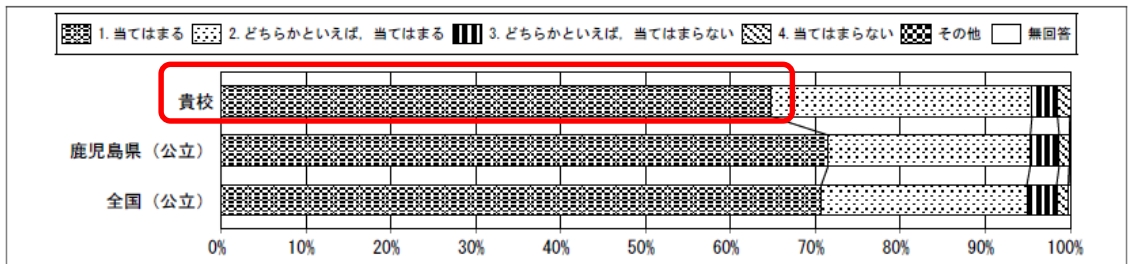
質問番号	質問事項												
(2)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていますか												
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答	
平成30年度	23.3	60.9	15.8	0.0							0.0	0.0	
平成29年度	18.5	60.8	17.7	3.1							0.0	0.0	
平成28年度	33.3	52.4	11.1	3.2							0.0	0.0	
平成26年度	37.3	47.0	11.2	3.7							0.0	0.7	



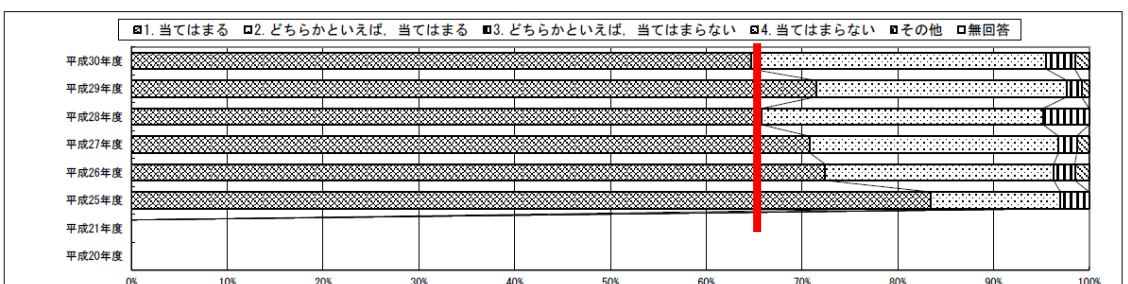
(2) 自己有用感が低い

ア 本年度の状況（全国、県との比較）及び経年変化（過去5年間）

質問番号	質問事項												
(6)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか												
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答	
貴校	64.7	30.8	3.0	1.5							0.0	0.0	
鹿児島県（公立）	71.5	23.8	3.4	1.2							0.0	0.1	
全国（公立）	70.7	24.2	3.5	1.4							0.0	0.2	



質問番号	質問事項												
(6)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか												
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答	
平成30年度	64.7	30.8	3.0	1.5							0.0	0.0	
平成29年度	71.5	26.2	1.5	0.8							0.0	0.0	
平成28年度	65.9	29.4	4.8	0.0							0.0	0.0	
平成27年度	70.8	26.0	1.9	1.3							0.0	0.0	
平成26年度	72.4	23.9	2.2	1.5							0.0	0.0	
平成25年度	83.5	13.5	3.0	0.0							0.0	0.0	
平成21年度													
平成20年度													



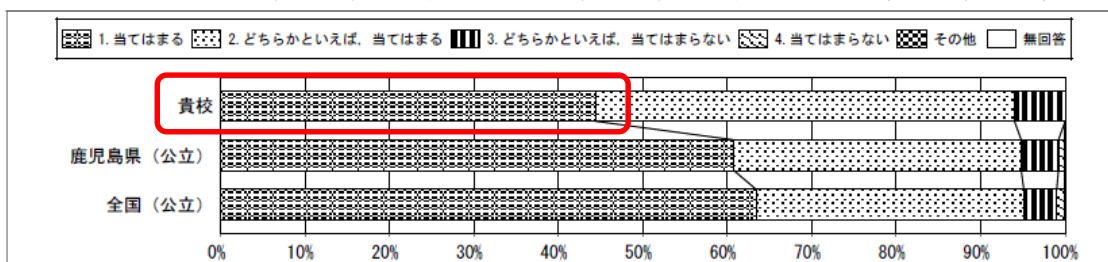
(3) 規範意識といじめの問題について

※ 規範意識が低く、「いじめが絶対に許されない。」という認識もやや低い。

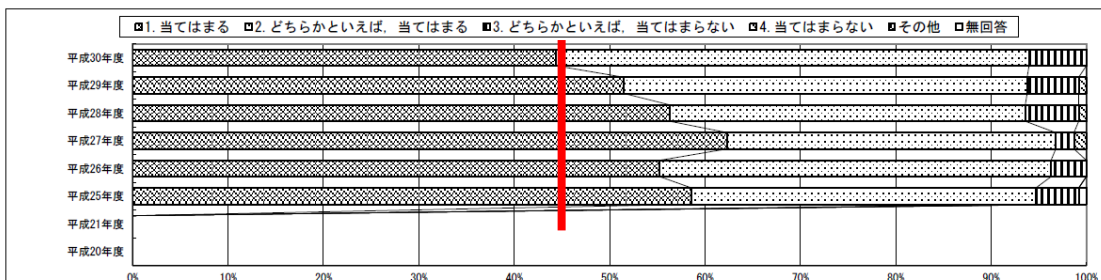
ア 本年度の状況（全国、県との比較）及び経年変化（過去5年間）

【規範意識】

質問番号	質問事項											
(4)	学校の規則を守っていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	44.4	49.6	6.0	0.0							0.0	0.0
鹿児島県（公立）	60.8	34.0	4.4	0.7							0.0	0.1
全国（公立）	63.4	31.7	3.9	0.9							0.0	0.1

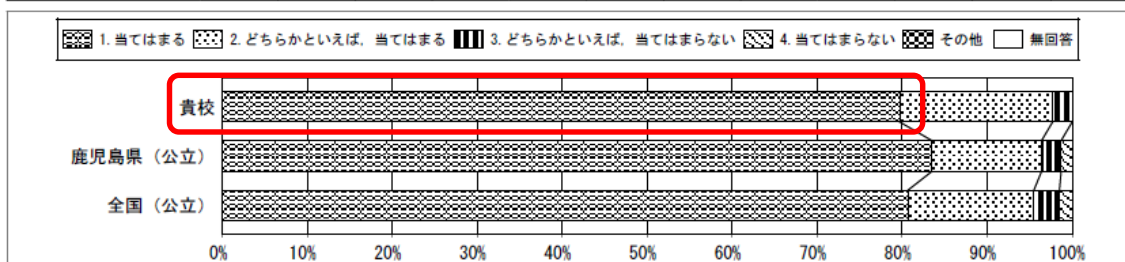


質問番号	質問事項											
(4)	学校の規則を守っていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
平成30年度	44.4	49.6	6.0	0.0							0.0	0.0
平成29年度	51.5	42.3	5.4	0.8							0.0	0.0
平成28年度	56.3	37.3	5.6	0.8							0.0	0.0
平成27年度	62.3	34.4	1.9	1.3							0.0	0.0
平成26年度	55.2	41.0	3.7	0.0							0.0	0.0
平成25年度	58.6	36.1	4.5	0.0							0.0	0.8
平成21年度												
平成20年度												

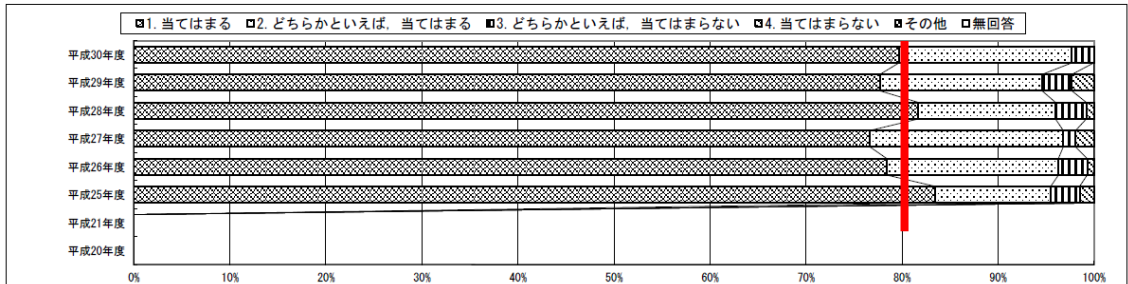


【いじめの認識】

質問番号	質問事項											
(5)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	79.7	18.0	2.3	0.0							0.0	0.0
鹿児島県（公立）	83.5	12.9	2.3	1.3							0.0	0.0
全国（公立）	80.7	14.8	3.0	1.5							0.0	0.1



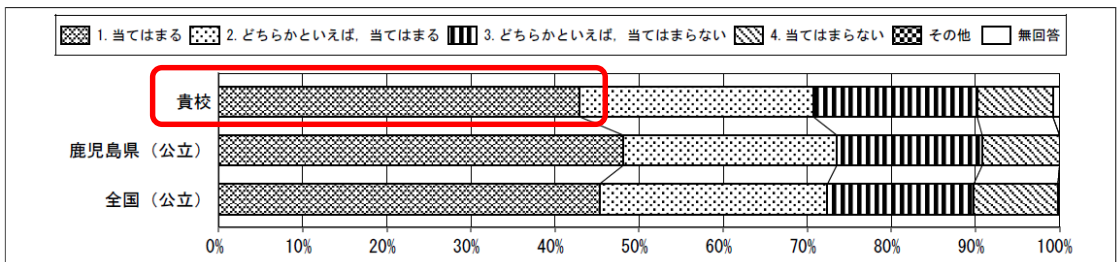
質問番号	質問事項											
(5)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
平成30年度	79.7	18.0	2.3	0.0							0.0	0.0
平成29年度	77.7	16.9	3.1	2.3							0.0	0.0
平成28年度	81.7	14.3	3.2	0.8							0.0	0.0
平成27年度	76.6	20.1	1.3	1.9							0.0	0.0
平成26年度	78.4	17.9	3.0	0.7							0.0	0.0
平成25年度	83.5	12.0	3.0	1.5							0.0	0.0
平成21年度												
平成20年度												



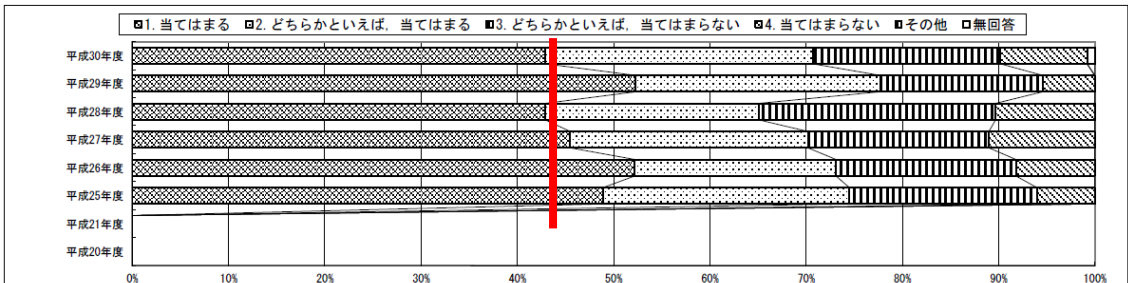
(4) 夢を持っているか。

※ **夢をもっていない生徒が多い。**

質問番号	質問事項											
(3)	将来の夢や目標を持っていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	42.9	27.8	19.5	9.0							0.0	0.8
鹿児島県（公立）	48.1	25.4	17.3	9.2							0.0	0.1
全国（公立）	45.3	27.1	17.4	10.0							0.0	0.2



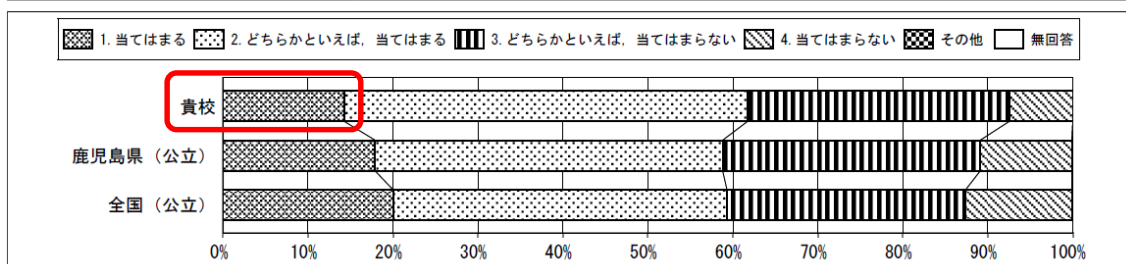
質問番号	質問事項											
(3)	将来の夢や目標を持っていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
平成30年度	42.9	27.8	19.5	9.0							0.0	0.8
平成29年度	52.3	25.4	16.9	5.4							0.0	0.0
平成28年度	42.9	22.2	24.6	10.3							0.0	0.0
平成27年度	45.5	24.7	18.8	11.0							0.0	0.0
平成26年度	52.2	20.9	18.7	8.2							0.0	0.0
平成25年度	48.9	25.6	19.5	6.0							0.0	0.0
平成21年度												
平成20年度												



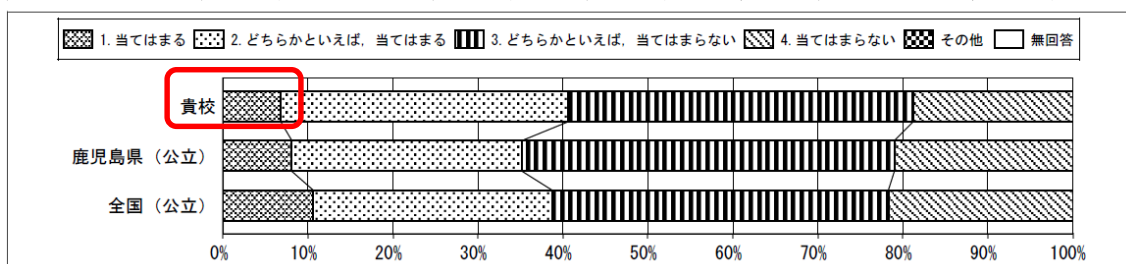
(5) 地域や社会で起きている問題への関心

⇒ 新聞活用（スピーチへ）

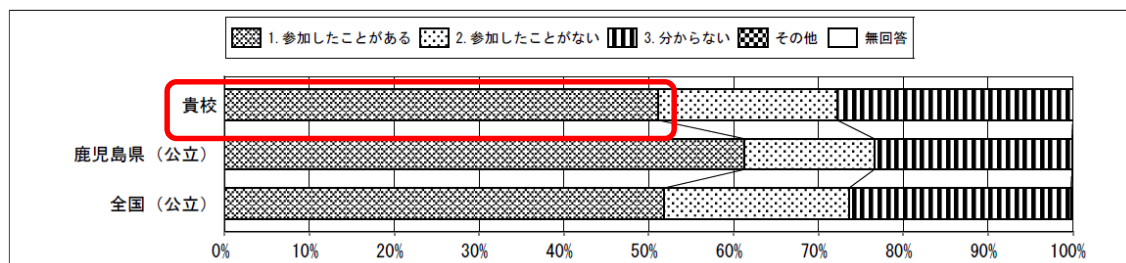
質問番号	質問事項											
(21)	地域や社会で起きている問題や出来事に関心がありますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	14.3	47.4	30.8	7.5							0.0	0.0
鹿児島県（公立）	17.9	40.9	30.3	10.8							0.0	0.1
全国（公立）	20.0	39.3	28.1	12.5							0.0	0.1



質問番号	質問事項											
(22)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	6.8	33.8	40.6	18.8							0.0	0.0
鹿児島県（公立）	8.1	27.1	43.8	21.0							0.0	0.0
全国（公立）	10.6	28.1	39.6	21.7							0.0	0.1



質問番号	質問事項											
(23)	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	51.1	21.1	27.8								0.0	0.0
鹿児島県（公立）	61.3	15.3	23.3								0.0	0.2
全国（公立）	51.8	21.8	26.2								0.0	0.2



※ 次年度の学校経営目標の中に

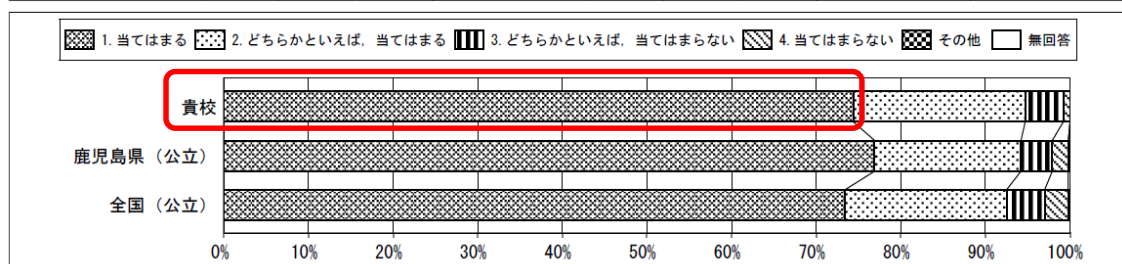
「地域の歴史や伝統文化を学び、郷土に誇りをもち、地域に貢献しようとする態度の育成（郷土を愛する心の育成）」を入れた。

(6) 数学への関心と学習（授業）の在り方について

※ できるようになりたいと思っているものの、「分からない」「できない」「嫌い」と感じている。

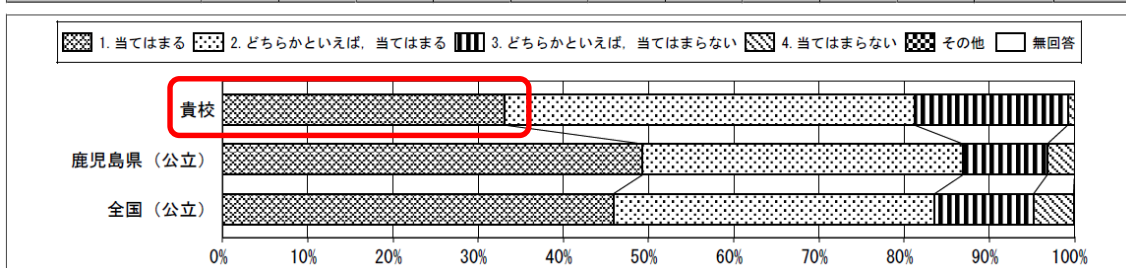
【できるようになりたい！】 **74.4%**

質問番号	質問事項											
(30)	数学ができるようになりたいと思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	74.4	20.3	4.5	0.8							0.0	0.0
鹿児島県（公立）	76.9	17.3	3.7	1.9							0.0	0.1
全国（公立）	73.4	19.1	4.5	2.8							0.0	0.1



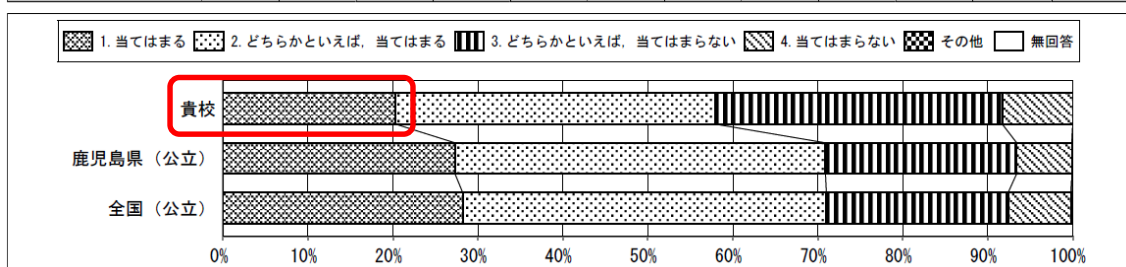
【数学の勉強は大切だと思いますか。】 **33.1%**

質問番号	質問事項											
(28)	数学の勉強は大切だと思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	33.1	48.1	18.0	0.8							0.0	0.0
鹿児島県（公立）	49.3	37.6	9.9	3.2							0.0	0.0
全国（公立）	45.9	37.7	11.6	4.7							0.0	0.1



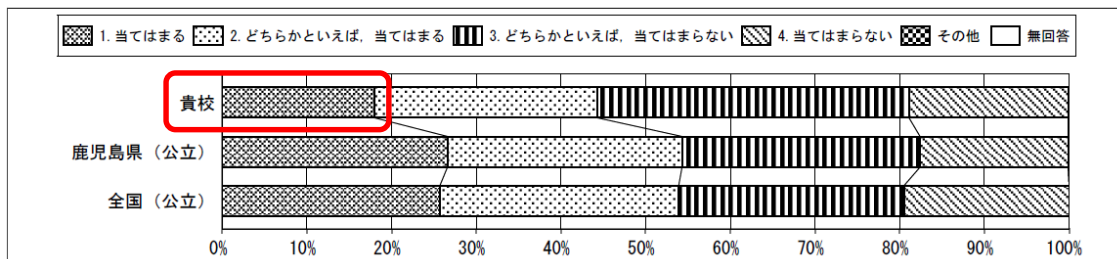
【内容は分かりますか。】 **20.3%**

質問番号	質問事項											
(29)	数学の授業の内容はよく分かりますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	20.3	37.6	33.8	8.3							0.0	0.0
鹿児島県（公立）	27.3	43.6	22.5	6.5							0.0	0.1
全国（公立）	28.2	42.8	21.4	7.4							0.0	0.1



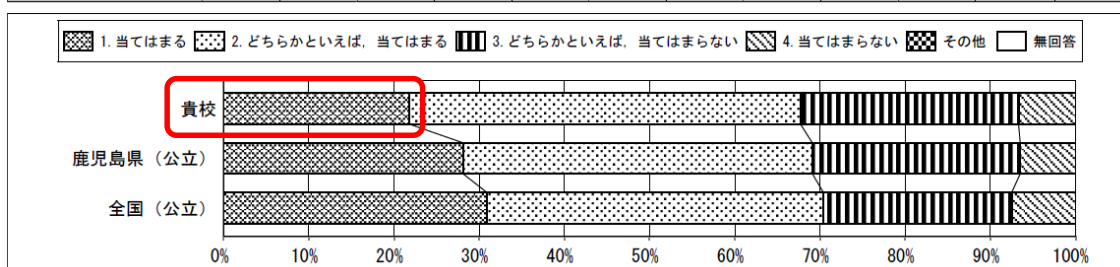
★【数学の勉強は好きですか。】 **18%**とかなり低い

質問番号	質問事項											
(27)	数学の勉強は好きですか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	18.0	26.3	36.8	18.8							0.0	0.0
鹿児島県 (公立)	26.6	27.7	28.1	17.5							0.0	0.0
全国 (公立)	25.7	28.2	26.6	19.5							0.0	0.0



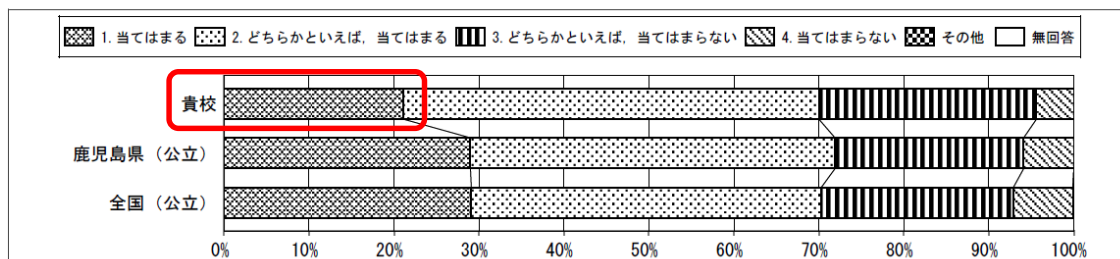
◎【根拠を理解しようとしているか。】 **21.8%**

質問番号	質問事項											
(35)	数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	21.8	45.9	25.6	6.8							0.0	0.0
鹿児島県 (公立)	28.1	41.0	24.4	6.5							0.0	0.1
全国 (公立)	30.9	39.5	22.1	7.5							0.0	0.1



◎【あきらめずにいろいろな方法を考えるか。】 **21.1%**

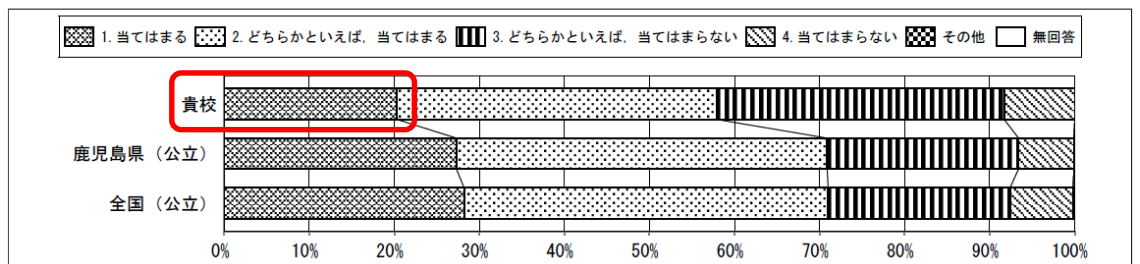
質問番号	質問事項											
(31)	数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	21.1	48.9	25.6	4.5							0.0	0.0
鹿児島県 (公立)	29.0	42.9	22.2	5.9							0.0	0.1
全国 (公立)	29.1	41.2	22.6	7.0							0.0	0.1



次年度の本校の授業の在り方
 「分かる」⇒「できる」⇒「使う」⇒「生かす」である。そのことを基
 に、今年度のデータを並び替えると。

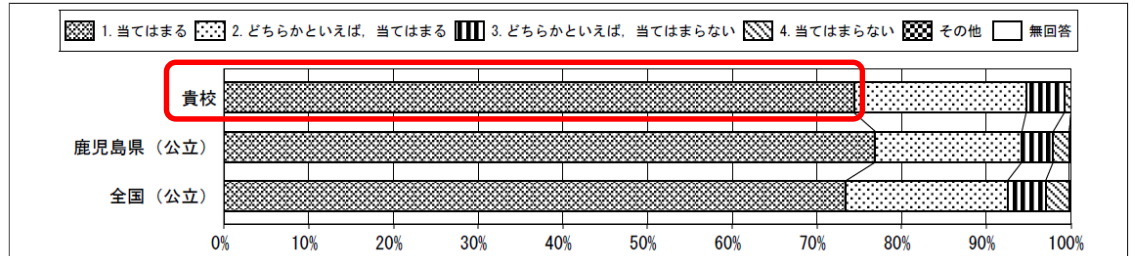
① 「分かる」⇒【内容は分かりますか。】 **20.3%**

質問番号	質問事項											
(29)	数学の授業の内容はよく分かりますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	20.3	37.6	33.8	8.3							0.0	0.0
鹿児島県(公立)	27.3	43.6	22.5	6.5							0.0	0.1
全国(公立)	28.2	42.8	21.4	7.4							0.0	0.1



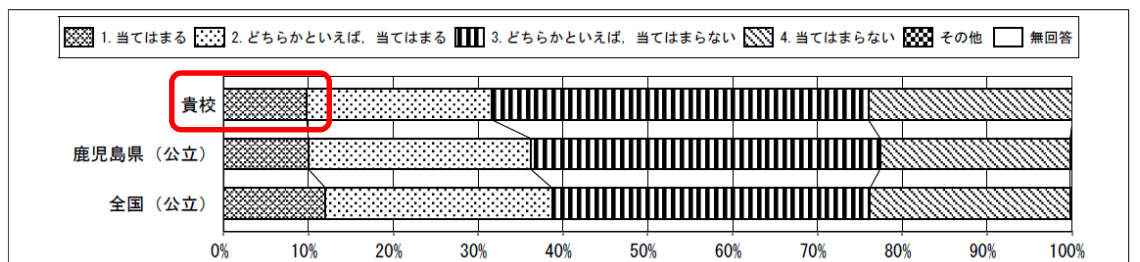
② 「できる」⇒【できるようになりたい!】 **74.4%**

質問番号	質問事項											
(30)	数学ができるようになりたいと思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	74.4	20.3	4.5	0.8							0.0	0.0
鹿児島県(公立)	76.9	17.3	3.7	1.9							0.0	0.1
全国(公立)	73.4	19.1	4.5	2.8							0.0	0.1



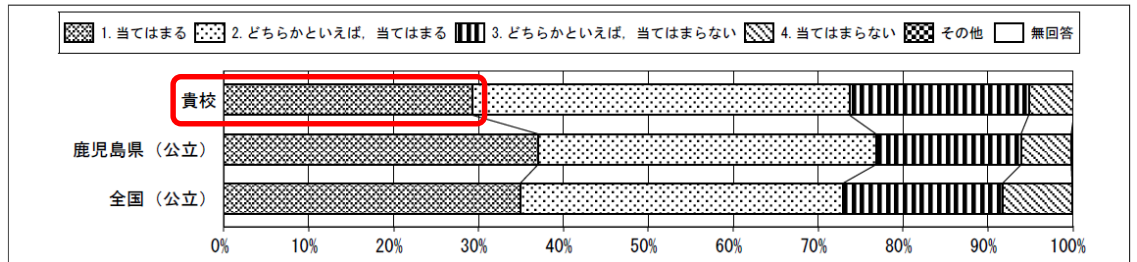
③ 「使う」⇒【生活の中で活用できないか考える】 **9.8%**

質問番号	質問事項											
(32)	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	9.8	21.8	44.4	24.1							0.0	0.0
鹿児島県(公立)	10.0	26.2	41.2	22.4							0.0	0.1
全国(公立)	12.0	26.7	37.5	23.6							0.0	0.1



④ 「生かす」 ⇒ 【将来、社会に出たときに役に立つ】 **29.3%**

質問番号	質問事項											
(33)	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	29.3	44.4	21.1	5.3							0.0	0.0
鹿児島県（公立）	37.0	39.8	17.1	5.9							0.1	0.1
全国（公立）	34.9	38.0	18.8	8.2							0.0	0.1

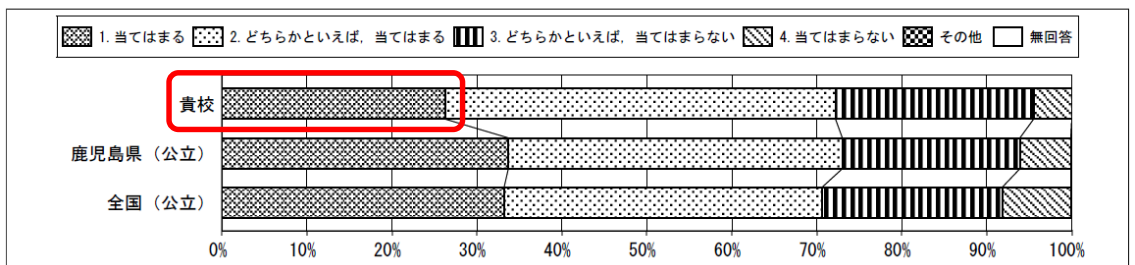


(7) 理科への関心と学習（授業）の在り方について

※ 「分からない」「できない」「嫌い」と感じている。

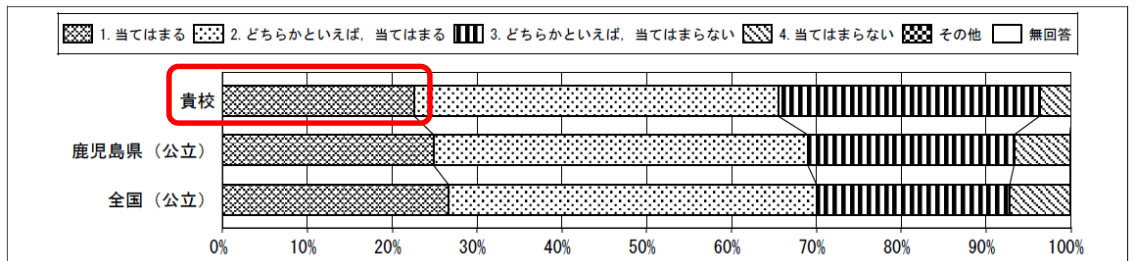
【理科の勉強は大切だと思いますか。】 **26.3%**

質問番号	質問事項											
(39)	理科の勉強は大切だと思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	26.3	45.9	23.3	4.5							0.0	0.0
鹿児島県（公立）	33.7	39.3	20.9	6.0							0.0	0.0
全国（公立）	33.2	37.4	21.2	8.1							0.0	0.1



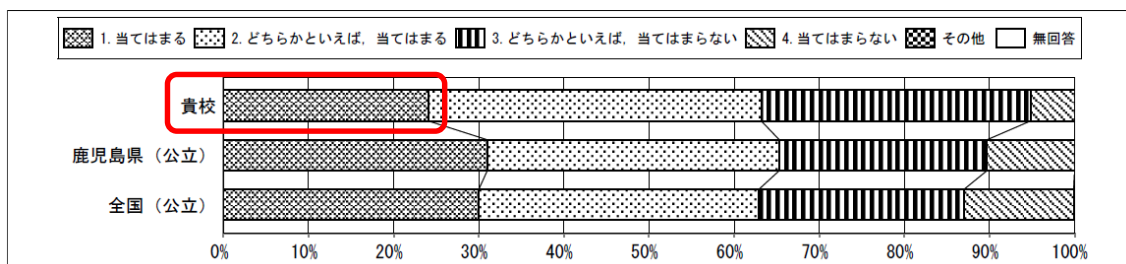
【内容は分かりますか。】 **22.6%**

質問番号	質問事項											
(40)	理科の授業の内容はよく分かりますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	22.6	42.9	30.8	3.8							0.0	0.0
鹿児島県（公立）	24.9	44.1	24.3	6.6							0.0	0.1
全国（公立）	26.6	43.4	22.8	7.1							0.0	0.1



★【理科の勉強は好きですか。】 **24.1%**とかなり低い

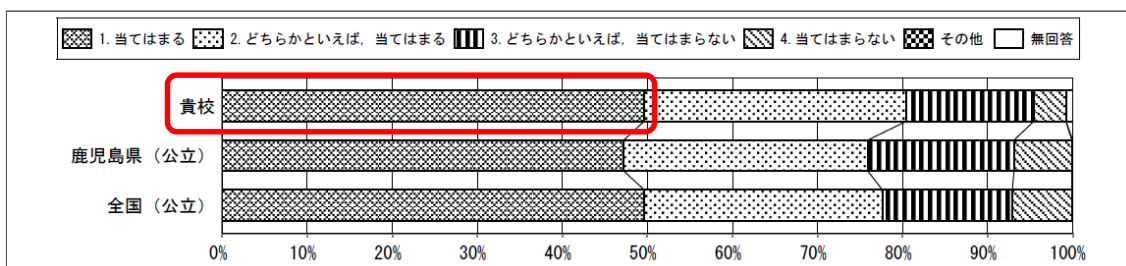
質問番号	質問事項											
(38)	理科の勉強は好きですか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	24.1	39.1	31.6	5.3							0.0	0.0
鹿児島県（公立）	31.0	34.3	24.4	10.3							0.0	0.0
全国（公立）	30.0	32.9	24.1	12.9							0.0	0.0



しかしながら、この「生徒質問紙」の回答中に、本校の生徒実態の中にとっても **よい状況が見える部分**がある。そのことを、今後の理科の授業に生かしていけば、「分かる」⇒「できる」⇒「使える」⇒「生かせる」につなげていけると考える。

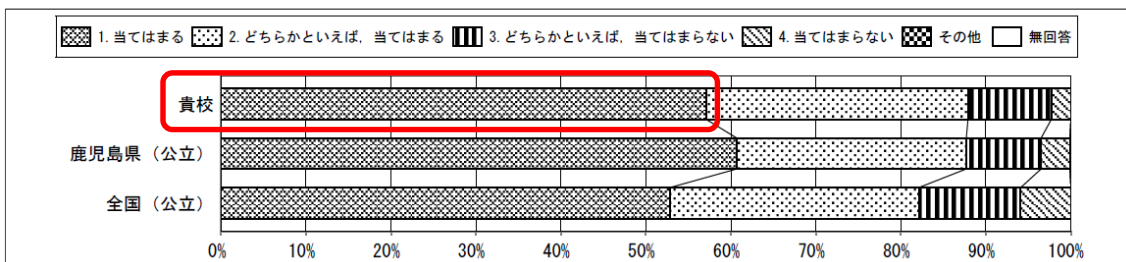
◎【自然の中で遊んだりした自然体験】 **49.6%**

質問番号	質問事項											
(41)	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	49.6	30.8	15.0	3.8							0.0	0.8
鹿児島県（公立）	47.2	28.7	17.2	6.8							0.1	0.1
全国（公立）	49.6	28.0	15.3	7.0							0.0	0.1



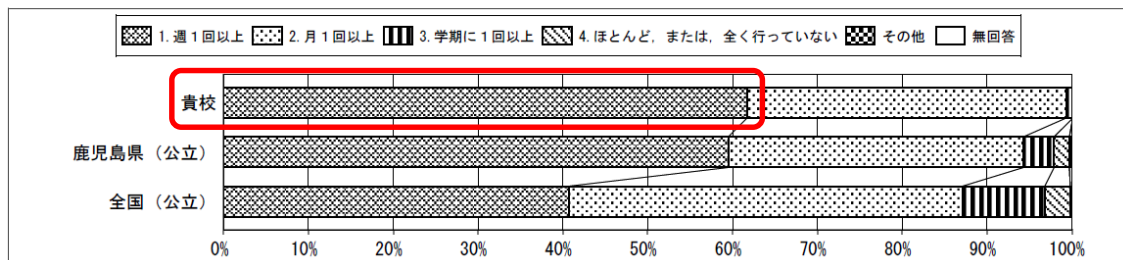
◎【理科の実験は好きですか。】 **57.1%**

質問番号	質問事項											
(47)	観察や実験を行うことは好きですか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	57.1	30.8	9.8	2.3							0.0	0.0
鹿児島県（公立）	60.7	27.0	8.8	3.4							0.0	0.1
全国（公立）	52.8	29.3	12.0	5.9							0.0	0.1



◎【観察や実験をどれくらいしたか。】 **週1回程度(61.7%)**

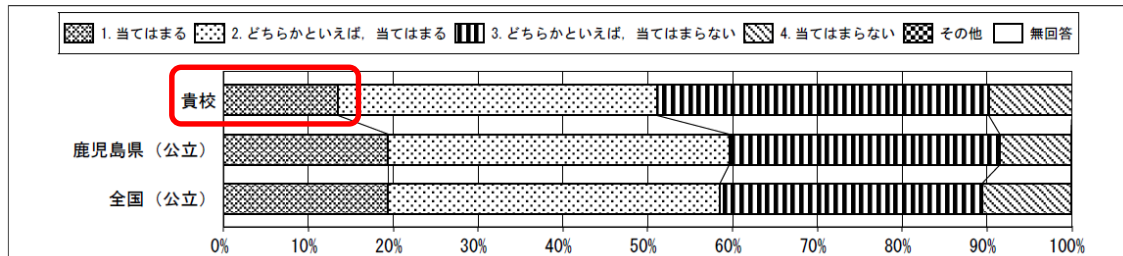
質問番号	質問事項											
(46)	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	61.7	37.6	0.8	0.0							0.0	0.0
鹿児島県(公立)	59.5	34.8	3.6	1.8							0.0	0.2
全国(公立)	40.7	46.4	9.7	3.0							0.0	0.2



しかし、この状況を授業に生かしきれない現実がある。

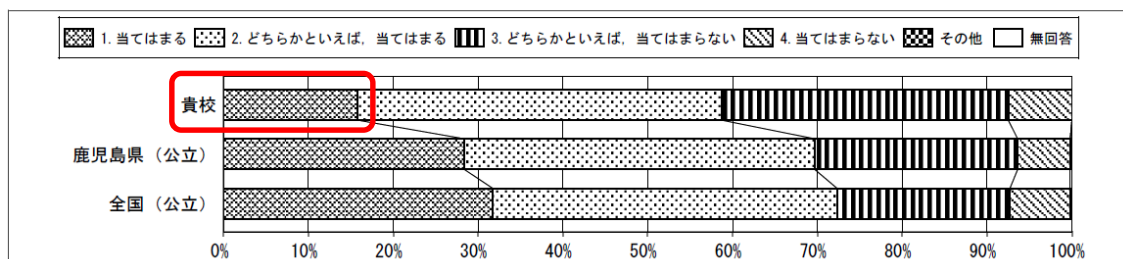
× 【自分の予想を基に観察や実験を行う。】 **13.5%(かなり低い)**

質問番号	質問事項											
(48)	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	13.5	37.6	39.1	9.8							0.0	0.0
鹿児島県(公立)	19.4	40.2	31.9	8.4							0.0	0.1
全国(公立)	19.4	39.1	30.9	10.5							0.0	0.1



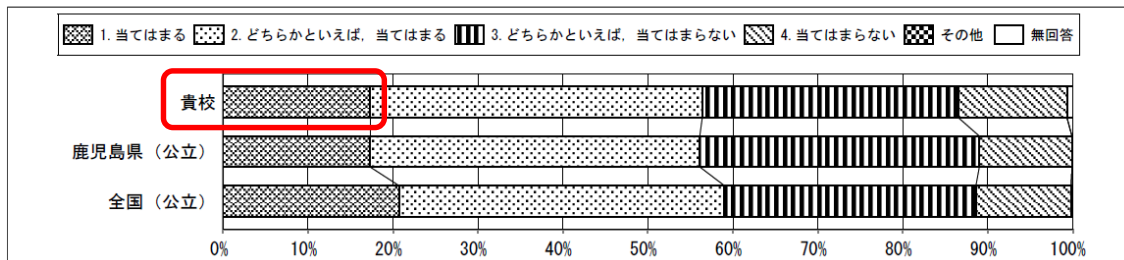
× 【観察や実験の結果を基に考察をしているか。】 **15.8%**

質問番号	質問事項											
(49)	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	15.8	42.9	33.8	7.5							0.0	0.0
鹿児島県(公立)	28.4	41.3	23.9	6.2							0.0	0.1
全国(公立)	31.7	40.6	20.4	7.1							0.0	0.1



× 【観察や実験の進め方や考え方を振り返っているか。】 **17.3%**

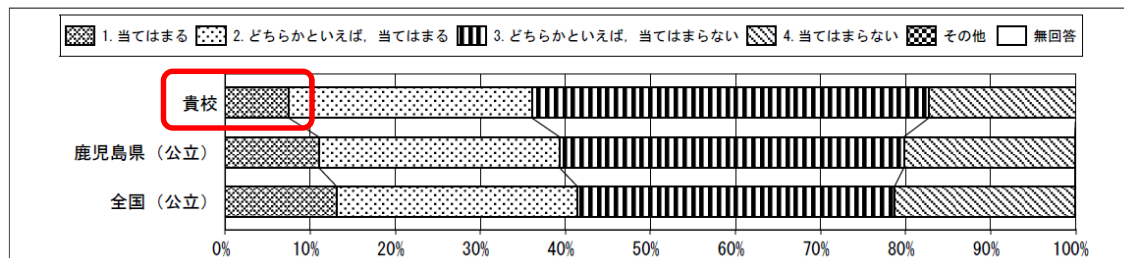
質問番号	質問事項											
(50)	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	17.3	39.1	30.1	12.8							0.0	0.8
鹿児島県（公立）	17.3	38.8	32.9	10.9							0.0	0.1
全国（公立）	20.7	38.3	29.6	11.2							0.0	0.1



× 【自分の考えや考察を周りの人に説明したり発表したりしているか。】

7.5% (かなり低い状況)

質問番号	質問事項											
(45)	理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	7.5	28.6	46.6	17.3							0.0	0.0
鹿児島県（公立）	11.0	28.3	40.5	20.1							0.0	0.1
全国（公立）	13.1	28.3	37.3	21.2							0.0	0.1



先に述べたように、本校の生徒は、土地柄から自然とふれあう経験を多く有しており、そのことを通して自然観察をした体験もある。そのような中で、授業では週1回程度、必ず実験や観察を行っている。特に、実験を行う際は、指導法改善加配の教諭とともにT・T（チームティーチング）で指導を行うなど、きめ細かな指導・支援ができていると思われる。

しかしながら、上記回答を基に、授業内容を考えていくと、課題が見てきた。

- ① 自分の予想を基に観察や実験ができていない。
- ② 観察や実験の結果を基に考察をできていない。
- ③ 観察や実験の進め方や考え方を振り返っていない。
- ④ 自分の考えや考察を周りの人に説明したり発表したりしていない。

※ このような点を踏まえ、**授業改善をしていく必要がある。**